

水冷ベスト

DIRECT COOL

ダイレクトクール/取扱説明書

目次

- 注意事項 1
- 各部位名称 2
- 仕様 3
- ご使用方法 4~5
- 各部位の取り外し方 6~7
- お手入れの仕方 8
- 構造部説明 8
- memo 9~10
- サービス・保証 11

**警告**

安全のため 必ず この取扱説明書をよくお読みください。本製品の使用方法を誤りますと、ケガをするなど大変危険です。

注意事項説明

■ DIRECT COOL 注意事項

- 内容品に記載している以外の物は付属しません。
- 異常を感じたらご使用をやめて弊社までご連絡ください。
- ご使用されていない期間における保管・水抜きなどのお手入れはお客様の責任で行うようお願い致します。水を抜かない状態で保管した際のトラブルについては弊社では責任を負いかねます。

- 本製品をご利用において生じる物品の故障/破損は、補償の対象外となります。
- 仕様は改善のため予告無く変更する場合があります。
- 記載の数値はご使用の環境や状況により異なります。
- ご使用前に下記注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

使用上の注意

- 使用中、体に異変が起きた場合はすぐに使用を中止してください。
- 次のような方は使用しないでください。
 - 冷たさを自覚できない高齢者、子供、幼児
 - 循環器系疾患のある方(糖尿病・狭心症・高血圧・低血圧等)
 - 妊娠中または妊娠している可能性のある方、出産直後の方(医師にご相談の上ご使用ください。)
 - 体調不良や身体に異常を感じている方
 - アレルギー体質の方や皮膚の弱い方、肌に湿疹や傷がある方
 - 自ら意思表示ができない方や操作ができない方
 - 医療機関で治療中の方
- 幼児の手に届くところに置かないでください。
- 水を入れない状態でポンプを回し続けしないでください。
- バッテリーやポンプ、ケーブルに水をかけたり水の中に入れてください。
- ケーブル端子は根元まで差し込み、傷んだケーブル端子やケーブルは使わないでください。
- 濡れた手で操作、ケーブル端子の抜き差しはしないでください。
- タンクに水、チャージボトル、凍ったペットボトル、氷を出し入れる際は、ケーブル端子をバッテリーから抜いてから行ってください。
- 落下などの強い衝撃を与えないでください。

- ドライアイスや熱いお湯等、水と氷以外のものはタンクに入れないでください。
- 火気近くで使用しないでください。
- タンクを直接凍らせしないでください。
- タンクにお湯を入れないでください。ポンプが破損する場合があります。
- 冷えたパイプが肌に直接触れないよう、必ず衣服の上から着用してください。
- 就寝時に使用しないでください。
- 泥酔や体の感覚が鈍くなっている際のご使用は控えてください。
- 用途以外の目的で使用しないでください。

安全上の注意

- 本体の改造はしないでください。故障ややけど、ケガの原因になります。

使用後の注意

- ケーブルを強く束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたり、加熱や加工したりしないでください。
- ケーブル端子を抜く時は、ケーブルを引っ張らずに先端部分を持ってください。
- お手入れの際は有機溶剤(石油、シンナー、ベンジン等)は使用しないでください。

保管上の注意

- 暖房器具の近く等の高温や極端に低温になる場所に置かないでください。
- 水まわりや湿気の多い所に置かないでください。
- お子様の手が届かない所に保管してください。
- 使用後はよく乾燥させてください。

その他

- 本製品は医療機器ではありません。患部を冷やすなどの医療行為には利用できません。
- ACアダプタは付属しません。

リチウムイオン電池 注意事項 《使用上の注意》

- 蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。
 - 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
 - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製のものとは別々にしてください。
- 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。

- 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。
- 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発生したり、発熱、変色、変形その他今までと異なることに気がついたときは、電源をオフにする、あるいは充電をおやめください。
- 充電作業は必ず屋内で行い、高温、多湿を避け、水がかからない場所で行ってください。

- 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になるおそれがあります。
- お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないで買い上げの販売店にご持参ください。

各部位名称

■本体(背面)



■本体(前)



■本体(内側)



ポンプ



保冷仕様



タンク



チャージボトル



仕様

DIRECT COOL

※記載の数値はご使用の環境や状況により異なります。

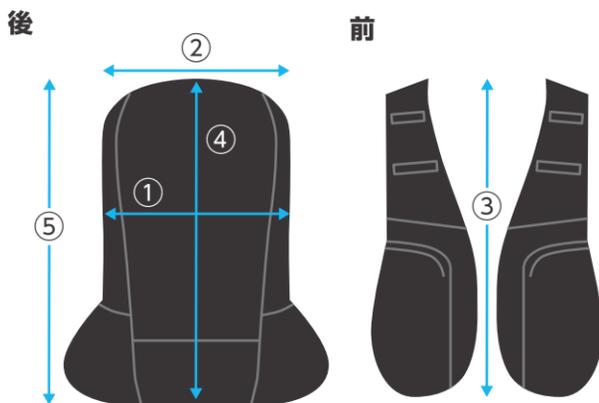
■本体

ウェア素材	表地/ナイロン 裏地/ポリエステル	冷却部仕様	Peva/PE綿/スポンジ
タンク材質	TPU	冷却ホース	シリコーンゴム

対応バッテリーについて

市販のモバイルバッテリーが使用可能です。5V2.0~3.0Aのバッテリーをご使用ください。また出力電圧・電流が合致していても、**相性の問題で使用できない場合があります。**

寸法



SIZE	フリー S~5L相当
①胸囲	80~130cm
②肩幅	28cm
③着丈	44cm
④前着丈	40.5cm
⑤後着丈	42cm

推奨バッテリー

ファーストテクニカル FT-MB001BK2	JANコード4573597300250
------------------------	---------------------

ご使用方法

本体の準備



1 タンクポケットを開け、スライドクリップ部を取り出してください。

2 タンクのスライドクリップを外し、約200mlほどの冷水を入れます。

3 凍ったチャージボトルを入れ、タンクをスライドクリップで固定します。メッシュポケットに保冷剤などを収納できます。

4 タンクポケットを閉めます。

凍ったペットボトルを使用する場合

タンクがチャージボトル用で大きいので、タンク内でペットボトルが斜めになる場合があります。斜めになると循環した水がペットボトルにしっかり当たらないため冷却効果が薄れてしまいます。

●ペットボトルをご使用する場合のワンポイント

- 細めのペットボトルを2本入れる
- ペットボトルがまっすぐ立つように保冷剤などを両サイドに入れ固定する



650mlまでのサイズ
ペットボトルに対応

650ml
長時間

小型ボトルで
軽量

お茶・ジュース・ドリンクなど中身によって持続時間が若干異なります。

氷をそのまま入れて使用することも可能です

凍ったペットボトルより冷えますが、持ち時間は短くなります。なるべく大きな氷をご使用ください。

注意 200lmの水は必ず入れてください。水が不足するとポンプが空回りし、モーター故障となる場合があります。

注意 ※汚れた水や砂やほこりなどがタンクに入ると、ポンプ詰まりの原因となります。必ずきれいな水を使い、ペットボトルの汚れをきれいにふき取りご使用ください。

注意 凍ったペットボトルを入れる場合は、厚みが出るためハーネスなどを使用しないでください。

ご使用方法

バッテリーの接続



ケーブル端子



ケーブル端子をバッテリーのポートに差し込みます。ポケットにバッテリーを収納してください。

モード切替スイッチの操作方法

モード切替スイッチを押すと、電源が入り①連続運転モードのランプが光ります。モード切替スイッチを押すと、モードが切り替わります。ご使用シーンに合わせ変更してご使用ください。

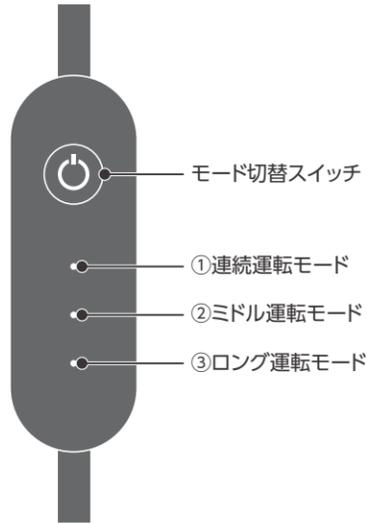
- | | |
|------------|---------------|
| ① 連続運転モード | ① 連続作動 |
| ② ミドル運転モード | ② 20秒作動-60秒停止 |
| ③ ロング運転モード | ③ 20秒作動-80秒停止 |

※バッテリーとの接続を維持するため、停止中も僅かに動作します。



モード切替スイッチ

※写真は開発段階のデザインとなっています。



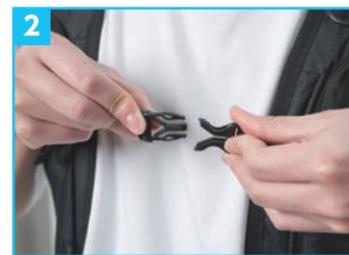
装着注意事項



注意 身体に密着していない場合、冷却効果が低減、または得られない可能性があります。



1 着衣時に、肩部が裏返らない様ご注意ください。ホースが曲がり水が止まり故障の原因になります。



2 前面のバックルのベルトや側面の調整ベルトとバックルを調節して身体に密着するようにしてご使用ください。

各部品の取り外し方



1 バッテリーを取り出し、ケーブル端子を抜いてください。



2 図のようにケーブルを引き抜いてください。



3 ポンプポケットを開けて、ポンプを取り出します。



4 ポンプから2本のチューブを外してください。



※バネが付いているチューブはOUT側に取り付けます

※写真は開発段階のデザインとなっています。



5-1 ポンプとケーブルをポンプポケット側からゆっくり引き抜いてください。(5-1、5-2)



5-2

各商品の取り外し方



6

タンクポケットを開け、タンクを止めている固定バンドを外します。



7

タンク上部にあるチューブを抜き取ります。



8

タンクを抜き取ってください。



9

バッテリー・ポンプ・ケーブル・タンクを外しました。

取り付け方(お手入れ後の戻し方)は、取り外し方を逆手順で行ってください。

9ページ記載の「構造説明図」を、合わせてご覧ください。

※写真は開発段階のデザインとなっています。

7

※写真は開発段階のデザインとなっています。

お手入れの仕方

ベストの洗い方

- ①「各商品の取り外し方」を参考にバッテリー・ポンプ・ケーブル・タンクを取り外してください
- ②洗剤は中性洗剤をご使用ください
- ③ひかげ干しをし、水気を取ります
- ④完全に乾いてから各商品を取り付けてください

注意

- 手洗いで行ってください。
- ホース以外の全ての部品(バッテリー・ポンプ・ケーブル・タンク)を取り外してから洗ってください

定期的なお手入れ方法

- ①本体の汚れを濡れタオルなどで拭き取ります。
- ②スライドクリップを外し、タンク内に空のペットボトルを入れます。
- ③ひかげ干しをし、水気を取ります。

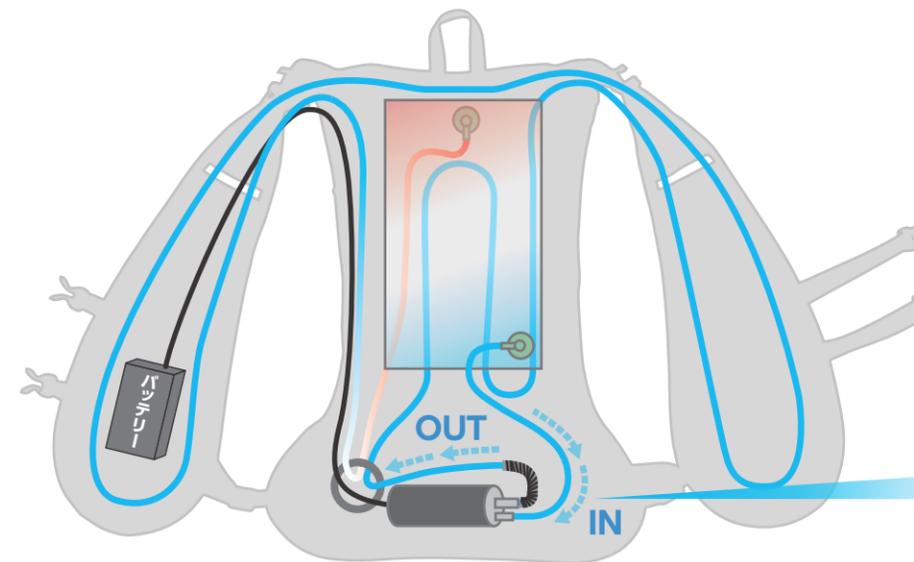
注意

必ずバッテリーを外してからおこなってください。



構造説明部

タンク



IN (外側)

水をポンプに送り込みます

OUT (中央)

水をポンプから排出します

8

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing on page 9.

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing on page 10.